

デナリ国立公園での登山について よくある質問

目次:

経験について

- デナリに登るにはどのような経験が必要ですか？
- 登山ガイドをつけなければなりませんか？
- デナリに登るにはどのような体力が必要ですか？
- 高所に順応するにはどうすればいいですか？ 高山病の薬は必要ですか？

ルートについて

- ウエストバットレス・ルートはどのくらい難しいですか？ そのルートは危険ですか？
- どのルートを登るといいですか？
- ルートの情報はどこで入手できますか？
- どのくらい混み合いますか？
- マッキンリーに登るにはどのくらいの期間が必要ですか？

天候について

- どのような天候が予測できますか？
- 天候が最も安定するのはいつですか？
- 登山中に天気予報を入手できますか？

装備について

- デナリ登山にはどのような装備が必要ですか？
- どのような通信手段がお勧めですか？
- マッキンリーやフォレイカーで携帯電話は使えますか？
- スキーとスノーシュー、どちらをお勧めですか？
- 登山者はどのような食料を持って行きますか？
- どのくらい燃料が必要ですか？

国立公園局の方針とその他について

- もし救助が必要になればどうなりますか？
- 排泄物を処理するために用意するものはありますか？
- デナリ登山について相談窓口はありますか？

入山登録について

- 次のシーズンのための入山登録はいつから受け付けますか？
- メンバーの一人ひとりに登録用紙が必要ですか？
- 60日以前の登録はどのくらい厳格なルールですか？
- 登録したメンバーのうち一人をキャンセルして、代わりに他のメンバーを入れることはできますか？
- 以前、マッキンリーに登ったことがあっても60日以前に入山登録する必要がありますか？
- 「30日前の追加」ルールと「7日前の例外登録」の両方を同時に利用できますか？
- 登録時に支払いは必要ですか？
- 入山料の払い戻しはありますか？
- 登録と入山料の支払い方法を教えてください。
- 登録用紙にはリーダーの名前を記入する欄がありますが、リーダーを確定する必要はありますか？
- どのエアタクシーを利用するか決めていません。空欄のままでいいですか？
- 「登録コード」とは何ですか？ それはどこで入手できますか？

- 入山者の数に制限はありますか？
- 入山が許可されたことを通知してもらえますか？
- 入山登録にはどのくらい時間がかかりますか？
- 複数のルートやマッキンリーとフォレイカーの両峰を登る場合、個別に登録する必要はありますか？
- 入山登録の締め切りはありますか？
- 入山許可の取得を早めることはできますか？
- 登録したルートを他のルートに変更することはできますか？
- 登録確認の書類を受け取った時点で入山手続きが完了したということですか？

オリエンテーションについて

- 入山手続きには予約が必要ですか？
- 入山手続きにはどのくらい時間がかかりますか？
- オリエンテーションにはメンバー全員の出席が必要ですか？
- メンバー全員、デナリ国立公園の登山経験者があっても入山前のオリエンテーションに出席する必要がありますか？
- 入山手続きの際に必要なものはありますか？
- 下山後も手続きをする必要がありますか？

デナリ登山についてよくある質問

経験について

Q: デナリに登るにはどのような経験が必要ですか？

A: デナリに登るということは命にかかわる行為であると心得てください。デナリ登山者には、その準備として、アラスカやワシントン州のカスケード山脈、ヨーロッパのアルプス山脈、南アメリカ、アジアにある氷河に覆われた山々に数多く登ることを勧めています。デナリ登山では氷河上を移動することが大部分となるので、安全に生還するためには、適切な氷河遡行やルートの判断、クレバスからの救助法に精通していることが不可欠です。デナリ登山は遠征であ

り、たいていは数週間にわたって行なわれるもので、一泊や数日間の登山とは大きく異なります。メンバー全員が“遠征の環境”を事前に経験しておくことが必要です。また、デナリは極度に寒い場所です。北極圏に似た環境で冬場のキャンプを経験することは非常に有効であり、必須であるといえます。最後に重要なこととして、デナリは標高の高い山なので、前もって高所に順応する経験をしておくことは大きな助けとなります。多くのガイド会社はデナリ登山のための事前講習を行っており、デナリ登山で推奨される“ウォーミングアップ”やトレーニングの情報もインターネットから入手できます。

Q: 登山ガイドをつけなければなりませんか？

A: いいえ。大半の登山隊は自分たちだけで登るので、登山ガイドは利用していません。登山ガイドを利用したい場合は、ガイドがデナリ国立公園から認可を受けているかどうか確認してください。認可を受けていないガイドとの登山は禁止されており、いかなるときでも登山中止となります。認可を受けたガイド会社のリストは必ず参照してください。ご質問やご不明な点がある場合は、タルキートナ・レンジャー・ステーション 907-733-2231 までお問い合わせください。

Q: デナリに登るにはどのような体力が必要ですか？

A: デナリ登山のための体力作りについては、本やインターネットから優れた情報が数多く入手できます。具体的に紹介することはできませんが、Alaska Geographic（アラスカの自然・文化遺産の支援と紹介を主な目的とする非営利団体）では参考となる本を取り扱っています。端的に言えば、重量のあるそり（27～36 kg）を引きながら、重いザック（18～32 kg）を背負い、適度な斜面を一度に6～8時間かけて歩く訓練をしなければなりません。デナリでは登攀や重い荷上げに加えて、キャンプの設営など多くの作業を伴います。アップダウンのトレーニングに加えて、基礎体力を強化することは大きなメリットとなります。多くの登山者は、瞬発力よりも持久力を高めるトレーニングから恩恵を受けています。重い荷物を背負って登る！すなわち山登り自体が最適なトレーニングといっても過言ではありません。

Q: 高所に順応するにはどうすればいいですか？ 高山病の薬は必要ですか？

A: 高度に関しては、デナリを目指す登山者にとって常に厄介な問題です。高度

による影響は、人によって、そしてその都度少しずつ異なります。とはいえ、高所に順応するために、一般的なアドバイスをいくつかすることはできます。登山のために総合的に体力をつけることは損ではありませんが、それが必ずしも高山病の予防になるとは限りません。多くの登山者は、荷上げをして荷物を置いた後、下のキャンプに戻ってそこに泊まり、翌日荷上げ地点に移動するという“ダブル・ボッカ”の方法を取り入れています。この方法を取り入れた登山隊は、概して高所への順応がうまくいっています。“高く登り、低く寝る”が鉄則であり、標高 3,000m 以上では一日に登る高度は 300m 以下に抑えてください。

適度な登高ペースに加えて、移動や休憩の合間に適切な水分補給を行なうことで、高所に順応することができます。人体が自然に高所に慣れるためには、十分な水分補給と電解質の補充が欠かせません。少なくとも一日当たり 4~6 リットルの水分を取ってください。

高山病の薬を服用するかしないかは、個人の判断であり、状況に応じて変わります。高山病の薬を予防のために服用する場合は利点と欠点があり、どのようにすればいいかについては多くの考え方があります。高山病の徴候や症状が出た場合、治療のために医者からの指示に従って高山病の薬を服用することを強く勧めています。

ルートについて

Q: ウエストバットレス・ルートはどのくらい難しいですか？ そのルートは危険ですか？

A: とりわけ数週間にわたる登山のルートとなると、その難易度を決めるのは難しいものです。デナリのような山では、難易度を次の点から考慮する必要があります。1) 技術的な難しさ、2) 天候やルートの状態、3) 雪崩や落石などの客観的な危険性、4) 環境の厳しさ、の四つです。技術的な難しさでいえば、ウエストバットレス・ルートは傾斜がおよそ 40 度ある雪と氷の斜面を登るのはもちろんのこと、無数のクレバスが広範囲にわたっている氷河の遡行もしなければなりません。このルートで最も傾斜があるのは、標高 4,330m キャンプの上にあるヘッドウォールですが、そこには固定ロープが張られています。標高 5,240m の最終キャンプから標高 5,547m のデナリ・パスへと続く雪と氷の斜面は通称“ア

ウトバーン”と呼ばれ、この斜面の状態は深い雪（雪崩の危険）から硬い氷へと変化します。デナリの上部（すなわち、アウトバーン、ゼブラ・ロックスの直下、ピッグ・ヒル、頂上稜線）では、登山者は必要に応じて自分自身を確保するプロテクション・ギアを設置しなければなりません。デナリでは、アウトバーンで死亡事故が多発しています。

Q: デナリのどのルートに登るといいですか？

A: デナリ登山者の多く（90%以上）は、技術的に最も易しいとされるウエストバットレス・ルートから登頂を試みています。デナリの北側にあるモルドロー氷河ルートは、技術的な難易度と距離はウエストバットレスと同等ですが、ベースキャンプまで飛ぶことができず、徒歩での入山が必要となるため大変な労力を要します。技術的にさらに難しいウエストリブは、ウエストバットレスの次によく登られているルートですが、毎年ほんの一握りの登山隊しか登りません。実際、ウエストバットレスと比べるとはるかに困難であり、雪崩や落石など客観的に見ても一層危険だといえます。デナリ登山について詳細なルートの説明や情報は、Alaska Geographic で推奨している優れたガイドブックなどを参考にしてください。また、山岳レンジャーも対応しますので、タルキートナ・レンジャー・ステーションまでお問い合わせください。

Q: ルートの情報はどこで入手できますか？

A: タルキートナ・レンジャー・ステーションには、重要なルートなど幅広い情報を入手できる図書があります。また、マッキンリーやフォレイカー登山に役立つ詳しい本が何冊かあります。国立公園局と提携している Alaska Geographic もこれらの本を取り扱っています。推奨資料など質問がある場合、タルキートナ・レンジャー・ステーションまでご連絡ください。

Q: どのくらい混みますか？

A: 世界中から訪れるため、“混んでいるかどうか”の感覚は登山隊によって大きく異なります。デナリでグループ単体や単独登山を経験するつもりなら、とりわけウエストバットレスでは期待できません。世界 7 大陸最高峰登山の人気の高まるにつれて、デナリのウエストバットレス・ルートを目指す登山者は、登山シーズンのピーク時の 5 月下旬から 6 月上旬には 500~600 人に上ります。通常、登山隊はベースキャンプと頂上間に散らばっていますが、ピーク時は標

高 4,330m のキャンプと 5,240m の最終キャンプにそれぞれ数百人の登山者を見かけることとなります。

Q: マッキンリーに登るにはどのくらいの期間が必要ですか？

A: 入山期間は平均して往復 17 日から 21 日です。登山開始から 12 日あるいは 13 日で登頂することは可能です。ただし、ほとんどの登山隊は標高 4,330m のキャンプと最終キャンプでそれぞれ最低一日は休養日にあてているので、日程はもう少し長くなります。休養日や登山可能な天候を考慮して無理のない日程を立てるなら、15 日から 18 日かけて登頂するのが一般的です。入山期間が 21 日から 28 日あれば、悪天候の回復を待つことができます。ただし、これだけの日数を持ってしても、好天に恵まれず登頂できないこともあります。

天候について

Q: どのような天候が予測できますか？

A: 極めて厳しい温度差や状況に対応できる準備をしなければなりません。カヒルトナ氷河では、地球上で最も寒暖の差がある気温を体験することとなります。風が穏やかで太陽が出ているときは、相当な暑さになります。高所のキャンプで北風にあうと、気温は氷点下 37 度にも下がります。

マッキンリーではおそらく風が最大の危険となるので、登山者は嵐を凌ぎ、強風から自分たちやキャンプを守るために万全の備えをする必要があります。気温が低くないときでさえ、風による冷却は凍傷を一気に重症化させたり、登山装備やキャンプサイトに大損害をもたらしたりします。標高 4,330m 地点では、時速 160 キロを超える風が記録されています。その一方、穏やかな天気の下、T シャツ一枚で登頂したケースもあります。万全の備えが大切です！

Q: 天候が最も安定するのはいつですか？

A: 天候を予測することはとても大切です。寒さが気にならないならば、高気圧で天気が良いシーズンの初め（4 月下旬から 5 月上旬）がお勧めです。6 月になり気温が上がるにつれて、雲に覆われ、山は降水量が多くなります。

Q: 登山中に天気予報を入手できますか？

A: はい。FRS (Family Radio Service) 無線の1チャンネルで毎晩放送します。ベースキャンプ (2,200m) と標高 4,330m のキャンプでは、レンジャーから天気の情報入手することもできます。また、天気予報が聞ける電話番号を入山手続きの際にお伝えします。ただし、マッキンリーやフォレイカーの天候を正確に予測することは極めて困難です。予報だけを鵜呑みにせず、適切な判断を下すことが常に求められます。

装備について

Q: デナリ登山にはどのような装備が必要ですか？

A: 氷点下 40 度の気温でも暖が取れ、時速 160 キロの風、大量の降雪やみぞれ、強烈な日差しに対応する装備が必要です。さらに、これらの装備は数週間継続する使用に耐えられるものでなければなりません。登山装備の推奨リストは『デナリ国立公園・保護区での登山』に掲載されており、インターネットでも多くの装備リストを紹介しています。携行すべき装備を選択すること、激変する状況生き抜くすべを知ることを、これらがデナリ登山に向けてのトレーニングや準備するための重要な役割になります。難ルートに挑む登山隊だけでなく、すべての登山者の命を守ってくれる装備は、適切に選択して取り扱うことが大切です。

Q: どのような通信手段がお勧めですか？

A: 登山中の通信手段として FRS 無線をお勧めします。FRS 無線のチャンネル 1 は緊急用として傍受されています。なお、CB 無線はもう傍受されていません。衛星携帯電話もお勧めします。

Q: マッキンリーやフォレイカーで携帯電話は使えますか？

A: 時々使えます。ただし、緊急用として他の通信手段も携行することをお勧めします。山での携帯電話の通話エリアは毎年異なります。2010 年では、現地の電話会社 Matanuska Telephone Association の携帯電話だけが通話でき、標高 2,900m、ウィンディ・コーナー、4,330m ベイスンの 3 地点のみで受信が可能です。

した。

Q: スキーとスノーシュー、どちらをお勧めですか？

A: どちらを選択するかは個人の好みによります。大多数の登山者はキャンプ 3 (3,400m) でスキーやスノーシューをデポし、そこでアイゼンに履き替えています。経験豊富なスキーヤーはザックを背負い、そりを引いて下降しています。スノーシューは浮力を十分に得ることができ、スキーやスノーシューを使用するかしないかでは、氷河遡行の安全性に雲泥の差があります。

Q: 登山者はどのような食料を持って行きますか？

A: 登山隊の食料は、登山計画や個人によってかなり異なります。登山が長期になればなるほど、軽量で準備が簡単なメニューに加えて、栄養管理と楽しめる食事内容に考慮してください。多くの登山隊は、より手軽な乾燥食品に、重いものより美味しい食品をうまく組み合わせています。多彩なメニューや食料プランが、種々の登山ガイドブックやインターネットで紹介されています。

Q: どのくらい燃料が必要ですか？

A: デナリ登山に使う燃料の量は多くの要素が関連しています。まず初めに、登山隊にとってどのタイプのストーブと燃料の組み合わせが最適であるかを考慮します。燃料はホワイトガソリン、プロパンガス、イソブタンガスなどがあります。これらの燃料のうち、より一般的な登山隊 (3人から5人のメンバー構成) は、ホワイトガソリンと専用ストーブをよく使用しています。イソブタンガスなどのガスストーブは大変便利で軽く、取り扱いも簡単ですが、カートリッジ (缶) 式のため、高所や寒冷地では十分な火力が得られません。ホワイトガソリンの量については、長年にわたって登山者たちが使用した量からある程度の目安はありますが、この場合もまた、実際の消費量は調理時間や登山中の気温、ストーブと調理器具の熱効率の具合などで変わります。一般的に 3 週間のデナリ登山の場合、一人当たりホワイトガソリン 1 ガロン (3.78 リットル) を携行し、予備として 1 ガロンを準備します。通常この量があれば、ちょっとした不測の事態にも対処することができます。他の登山装備と同様に、燃料は食事や水分補給に欠かすことのできない、命を守ってくれるものです。燃料は相応の準備をし、登山中は節約に努めます。

国立公園局の方針とその他について

Q: もし救助が必要になればどうなりますか？

A: 雪崩や落石など客観的な危険性が許容範囲と判断された場合、救助を必要としている登山者を救援することは国立公園局の任務の一つです。救助が必要だと気付いたとしても、風や視界、高度、地形など環境上の多くの困難があるため、迅速に救助に向かうことは滅多にありません。これらの理由から、自己管理の維持や自己救助の対策を立てることの必要性を強調してもしすぎることはありません。最新機器の使用や他からの救援は、適切な計画と事前準備に基づいて下される最善の判断にとって代わることはできません。つまり、緊急の事態で、救助が可能だと見なされれば出動します。救助するかどうかの決定権は公園当局にあり、救助隊員の安全が最優先されます。公園当局は救助にかかる費用を登山者から徴収しませんが、病院や救急医療ヘリコプターなど、下山後にかかる費用はすべて登山者の負担となります。

Q: 排泄物を処理するために用意するものはありますか？

A: いいえ。入山手続きの際にクリーン・マウンテン・カン（CMC）と排泄物を処理する分解性ポリ袋をお渡しします。これらについて追加の費用はかかりません。

Q: デナリ登山について相談窓口はありますか？

A: タルキートナ・レンジャー・ステーションでは、入山登録や登山についての問い合わせに喜んで対応する行政職員や山岳スタッフが一年中常駐しています。登山計画でサポートが必要な場合はいつでも、電話や電子メールでお問い合わせください。

入山登録についてよくある質問

入山登録について

Q: 次のシーズンのための入山登録はいつから受け付けますか？

A: 前年の 10 月 1 日から登録を受け付けます。例えば、2014 年のシーズンの場合、2013 年 10 月 1 日から入山登録の受付を開始します。

Q: メンバーの一人ひとりに登録用紙が必要ですか？

A: はい。登録手続きをするには、メンバー全員の登録用紙が揃っていないとなりません。全員分が届いているかどうかは、登録用紙にある“登山隊の合計人数”と照らし合わせて判断します。リーダーの責任で、登山開始日に間に合うようにメンバー全員の登録用紙と入山料を確実に提出してください。

Q: 60 日以前の登録はどのくらい厳格なルールですか？

A: 極めて厳格です。登録用紙が入山予定日の 60 日以前に届かなかった場合は、登録用紙が受理された日付に基づいて、可能な限り早い登山開始日を決定しリーダーに通知します。登山開始日の 30 日以前であれば、メンバーを一人追加することができます。詳細については、下記を参照してください。

Q: 登録したメンバーのうち一人をキャンセルして、代わりに他のメンバーを入れることはできますか？

A: パートナーやメンバーの“交代”はできません。ただし、登山開始日の 30 日以前であればメンバーを一人追加することができます。この一人追加のルールをまだ利用していない場合は、メンバーを一人交代することができます。キャンセルしたメンバーの入山料は新たなメンバーに譲渡できませんのでご注意ください。各メンバーは個別に登録用紙と入山料が必要です。また、30 日以前の一人追加のルールを利用する場合は、リーダーの承認が必要です。一人追加の登録が登山開始日まで間に合うように、タルキートナ・レンジャー・ステーションには早めにご連絡ください。

Q: 以前、マッキンリーに登ったことがあっても 60 日以前に入山登録する必要がありますか？

A: 1995 年以降、マッキンリーかフォレイカーあるいは両峰に登山した経験があり、登山者データベース（キャンセルした場合は該当しません！）に名前が載

っている人は、登録期間が短縮でき、7日以前の入山登録が可能です。ただし、この7日間ルールは各個人に対して適用されるため、登山隊として適用されるには、メンバー全員が1995年以降にマッキンリーかフォレイカーに登山した経験があり、データベースに載っている必要があります。

Q: 「30日前の追加」ルールと「7日前の例外登録」の両方を同時に利用できますか？

A: いいえ。どちらか一つのルールしか利用できません。60日以前に入山登録したグループだけが、30日以前に一人を追加することができます。このルールについてご不明な場合は、電子メールまたは電話 907-733-2231 でお問い合わせください。

Q: 登録時に支払いは必要ですか？

A: はい。登録用紙を提出する際に入山料を全額支払う必要があります。現在の入山料は 350 US ドルです。登山開始時 24 歳以下の登山者は、若年割引が適用され 250US ドルになります。これとは別に、入山手続きの際に一人当たり 10 ドルの入園料が必要になります。全州の国立公園で使用できる年間パスは、入園料の代わりになります。このパスは、入山手続きの際に身分証明書と一緒に提示しなければなりません。**注意: 消費者物価指数の変動に伴い、2014年1月1日から入山料が上がります。1月1日以降に登録する場合、インフレ調整した2014年のシーズンの入山料は 360 US ドルです。したがって 24 歳以下の若年割引の入山料は 260 ドルになります。**

Q: 入山料の払い戻しはありますか？

A: 1月15日以前にキャンセルした場合は 250 ドルが返金されます。若年割引の場合は 150 ドルが返金されます。1月15日を過ぎてキャンセルした場合は返金されません。不測の事態で登山をキャンセルする場合に備えて、旅行保険に加入することも考慮してください。

Q: 登録と入山料の支払い方法を教えてください。

A: Pay. Gov. を利用するオンライン登録と支払いを推奨しています。郵送や FAX などその他の場合は、電子メールまたは電話 907-733-2231 でお問い合わせください。

さい。

Q: 登録用紙にはリーダーの名前を記入する欄がありますが、リーダーを確定する必要はありますか？

A: はい。リーダーとは、グループのために連絡を担当する人のことです。質問や問題が生じた際の連絡窓口であり、登録完了を知らせる確認書類の送信先であり、オリエンテーションの予約を手配する担当者でもあります。このリーダーは、登山中の登攀リーダーやグループ内で最も頑強な登山者である必要はありません。グループ全体の入山登録を責任を持って行なえる人が適任です。

Q: どのエアタクシーを利用するか決めていません。空欄のままでいいですか？

A: はい。ただしフライトの予約は早めにするを強くお勧めします。オリエンテーションの際、詳細な登山計画のほかに利用するエアタクシーも確認します。

Q: 「登録コード」とは何ですか？ それはどこで入手できますか？

A: 登録コードとは、入山登録する前にメンバー全員が読まなければならない手引き書『デナリ国立公園・保護区での登山』に記載されている 4 桁の数字のことです。登録コードは入山登録するときに必要なもので、このコードが入力されていない登録用紙は受け付けません。この手引き書の内容は、安全で有意義な登山を行なうためにきわめて重要です。まさに、あなたの指やつま先を凍傷から守るだけでなく、あなたの命をも守ることになります！

Q: 入山者の数に制限はありますか？

A: はい。4 月 1 日から 8 月 1 日の間は、マッキンリーの入山者は 1500 人に制限されています。これは一シーズンの人数制限であり、一日や一週間当たりの制限はありません。

Q: 入山が許可されたことを通知してもらえますか？

A: タルキートナ・レンジャー・ステーションは、登録が完了し、入山が許可された旨の確認書類を登山隊のリーダー宛てに電子メールでお送りします。この

時点から、リーダーはオリエンテーションの日時を予約するために、オンラインのウェブサイトアクセスすることができます。確認書類をプリントしたものが必要な場合は、タルキートナ・レンジャー・ステーションまで電子メールまたは電話 907-733-2231 でお問い合わせください。リーダーに確認書類が届いていない場合は、入山登録が完了していないとってください。

Q: 入山登録にはどのくらい時間がかかりますか？

A: かかる時間は異なります。メンバー全員の登録用紙を受け取った後、山岳スタッフによる書類審査を行いません。この手続きにかかる時間はグループや時期によって異なりますので、メンバー全員の登録用紙が届いてから数週間かかると思ってください。入山登録が完了した後、確認書類を電子メールでお送りします。

Q: 複数のルートやマッキンリーとフォレイカーの両峰を登る場合、個別に登録する必要はありますか？

A: いいえ。一シーズンに一度登録すれば十分です。入山料は一シーズンを通してマッキンリーやフォレイカーの複数の登山をカバーします。

Q: 入山登録の締め切りはありますか？

A: 唯一必要なのは登山開始日の 60 日以前に入山登録をすることです。登山シーズンの前年の 10 月 1 日から入山登録を受け付けます。例えば、2014 年のシーズンであれば、2013 年 10 月 1 日から入山登録の受付を開始します。ただし、シーズンの人数制限である 1500 人に達した場合、登録の受付は中止します。混乱をまねかないように、できるだけ早く入山登録することをお勧めします。

Q: 入山許可の取得を早めることはできますか？

A: 登山開始日の 24 時間前であれば、いつでも入山許可証を発行します。ただし、許可証に記載されている登山開始日より前に入山することはできません。とはいえ、60 日以前の入山登録の要件を満たしていれば、開始日については柔軟に対応します。ご質問がある場合は、電話：907-733-2231 または電子メールでタルキートナ・レンジャー・ステーションまでお問い合わせください。

Q: 登録したルートを他のルートに変更することはできますか？

A: はい、できます。ただし、変更がある場合は、必ず連絡してください。入山手続きの際、どのルートにするか確認します。が、ベースキャンプに到着後ルートを変更することがあれば、山にいるレンジャーにその旨を伝えてください。レンジャーからの連絡を受けて、予定ルートをこちらで更新します。緊急の場合、こちらがルートを知っておくことは大変重要ですので、必要な情報はすべてこちらにお知らせください！

Q: 登録確認の書類を受け取った時点で入山手続きが完了したということですか？

A: いいえ。入園料の支払いや入山前のオリエンテーションへの出席を含む入山手続きをするために、タルキートナ・レンジャー・ステーションに来なければなりません。手続き完了後、正式な入山許可証を発行します。この許可証がなければ、エアタクシーはベースキャンプへ飛行することはありません。

オリエンテーションについて

Q: 入山手続きには予約が必要ですか？

A: はい。入山登録が完了すれば、リーダーは入山手続きの予約をするために、オンラインのウェブサイトへアクセスすることができます。このウェブサイトではリーダーは予約の設定、変更、キャンセルを行なうことができます。入山登録完了後は、タルキートナ・レンジャー・ステーションのスタッフもまた、予約作業のお手伝いをします。

Q: 入山手続きにはどのくらい時間がかかりますか？

A: 入山手続きの時間はグループによって異なりますが、少なくとも2~3時間かかるとお考えください。タルキートナ・レンジャー・ステーションで入山手続きが完了し、正式な入山許可証が発行されるまでは、エアタクシーがベースキャンプに飛ぶことはありません。オリエンテーションの予定時刻とフライトの予約時刻が接近しすぎていないか確認してください！フライトがスムーズにいくために、オリエンテーションの時刻をエアタクシーに通知しておくように

勧めています。

Q: オリエンテーションにはメンバー全員の出席が必要ですか？

A: はい。

Q: メンバー全員、デナリ国立公園の登山経験があっても入山前のオリエンテーションに出席する必要がありますか？

A: はい。

Q: 入山手続きの際に必要なものはありますか？

A: メンバーは一人ひとり、写真付きの身分証明書（つまりパスポートやアメリカ人であれば州発行の運転免許証）を提示する必要があります。また、入園料を支払わなければなりません。タルキートナ・レンジャー・ステーションでは、クレジットカードでの支払いを勧めています。Visa や MasterCard のデビットカード、トラベラーズチェック、現金でも支払い可能です。ただし、小切手は使用できません。全州の国立公園で使用できる年間パスやデナリ国立公園のパスを持っている場合は、必ず持参してください。コピーのパスは無効であり、家に置いてきたという言葉は鵜呑みにすることはありません。パスは入山手続きの際に提示する必要があります。

Q: 下山後も手続きをする必要がありますか？

A: はい。この手続きは約 15 分かかります。下山手続きの際にクリーン・マウンテン・カン（CMC）の返却をチェックし、今回の登山について基本的なことをいくつかお尋ねします。この情報は、入山手続きをする登山者に対して、よりの確なオリエンテーションを行なうための参考となります。また、シーズン終了後にまとめる統計データとしても重要な役割を果たしています。

（翻訳：栗秋正寿）